

3 特別会計歳入歳出予算の概要

特別会計は、特定の事業を行う場合において、特定の歳入をもって特定の歳出に充てるなど、一般会計と区分して経理する必要がある場合に、条例で設置するものです。本県では第14表の事業について特別会計を設けています。

本年度の特別会計の歳入歳出予算総額は、297億875万9千円で、前年度の315億8,168万3千円に比べ、18億7,292万4千円、5.9%の減となっています。

第14表 特別会計予算の状況

(単位：千円、%)

会 計 名	平成19年度 当初予算額(A)	平成18年度 当初予算額(B)	比 較	
			増 減 (A) (B)	伸び率 (A) (B)/(B)
交通災害共済事業	292,236	312,585	△20,349	△6.5
母子及び寡婦福祉資金貸付事業	202,556	203,148	△592	△0.3
小児心療センターあすなろ学園事業	1,036,570	1,078,813	△42,243	△3.9
農業改良資金貸付事業等	490,189	570,210	△80,021	△14.0
中央卸売市場事業	666,515	725,034	△58,519	△8.1
林業改善資金貸付事業	677,264	705,563	△28,299	△4.0
沿岸漁業改善資金貸付事業	213,907	213,634	273	0.1
中小企業者等支援資金貸付事業等	2,812,478	3,201,321	△388,843	△12.1
港湾整備事業	427,469	457,338	△29,869	△6.5
流域下水道事業	22,716,808	23,803,500	△1,086,692	△4.6
公共用地先行取得事業	172,767	310,537	△137,770	△44.4
合 計	29,708,759	31,581,683	△1,872,924	△5.9

特別会計歳入歳出予算について、その概要を説明します。

(1) 交通災害共済事業特別会計

この会計は、交通事故による被害者の当面の窮状を救済し、その生活の安定を図るための共済事業の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額2億9,223万6千円を計上しました。

歳入については、交通災害共済費負担金収入を2億5,399万円、交通災害共済基金利子558万8千円等を計上しました。

一方、歳出については、加入促進及び給付事業費2億8,291万7千円等を計上しました。

(2) 母子及び寡婦福祉資金貸付事業特別会計

この会計は、母子家庭や寡婦（配偶者のいない女性で一定の条件を満たす方）に対し、経済的自立を図るため、各種資金を貸付ける事業の収支を経理するもので、本年度は、歳入歳出総額2億255万6千円を計上しました。

歳入については、貸付金の元利収入1億8,226万9千円等を計上しました。

一方、歳出については、貸付金として2億195万9千円を計上しており、その他は貸付けに伴う運営経費です。

(3) 小児心療センターあすなろ学園事業特別会計

この会計は、精神障害児、情緒障害児及び発達障害児の心身の健全な発達を図るために設置された三重県立小児心療センターあすなろ学園の収支を経理するもので、本年度は、歳入歳出総額10億3,657万円を計上しました。

歳入については、一般会計繰入金3億8,313万9千円、児童福祉法に基づく措置入園児童に係る措置費及び診療収入を2億5,579万1千円、それ以外の児童の入園、通園による入院及び外来収入等3億9,305万2千円等を計上しました。

一方、歳出については、職員給与費等の人件費7億9,705万6千円、学園の運営経費として、2億3,454万7千円等を計上しました。

(4) 農業改良資金貸付事業等特別会計

この会計は、農業改良資金助成法等に基づく農業の担い手が農業改良措置（新たな農業部門の開始、新たな生産方式の開始等）に必要な資金と、新たに農業を開始しようとする青年農業者等が必要とする施設等の導入に掛かる資金の貸付事業の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額4億9,018万9千円を計上しました。

歳入については、貸付金償還金収入2億644万円、県債1,800万円、一般会計繰入金1,200万円等を計上しました。

一方、歳出については、農業改良資金貸付事業費2億5,516万円等を計上しました。

(5) 中央卸売市場事業特別会計

この会計は、生鮮食品等の取引の適正化とその生産及び流通の円滑化を図るため開設した中央卸売市場の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額6億6,651万5千円を計上しました。

歳入については、関係事業者の市場使用料3億519万1千円、一般会計繰入金8,898万2千円等を計上しました。

一方、歳出については、市場施設維持管理費4億837万7千円、人件費1億1,230万8千円等を計上しました。

(6) 林業改善資金貸付事業特別会計

この会計は、林業・木材産業経営の改善、労働災害の防止並びに後継者の育成に要する必要な資金の貸付事業の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額6億7,726万4千円を計上しました。

歳入については、貸付金元利収入4億7,506万1千円、県債6,887万6千円等を計上しました。

一方、歳出については、木材産業等高度化推進資金貸付事業費5億3,020万2千円、林業改善資金貸付事業費5,102万8千円等を計上しました。

(7) 沿岸漁業改善資金貸付事業特別会計

この会計は、沿岸漁業経営の改善および後継者の育成に必要な資金の貸付事業の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額2億1,390万7千円を計上しました。

歳入については、貸付金償還金収入1億2,698万5千円等を計上しました。

一方、歳出については、沿岸漁業改善資金貸付事業費2億1,322万7千円等を計上しました。

(8) 中小企業者等支援資金貸付事業等特別会計

この会計は、小規模企業者等設備導入資金助成法等に基づき、中小企業者等の近代化、高度化を促進するため、事業の共同化、店舗の集団化および設備の近代化等に必要な資金の貸付事業の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額28億1,247万8千円を計上しました。

歳入については、貸付金元利収入16億6,865万2千円、一般会計繰入金2億2,413万3千円等を計上しました。

一方、歳出については、小規模企業者等設備資金貸付事業貸付事業費7億1,171万4千円、小規模企業者等設備貸与事業貸付事業費9,622万1千円、高度化事業資金貸付事業費6億8,818万3千円等を計上しました。

(9) 港湾整備事業特別会計

この会計は、港湾埋立事業により取得した港湾施設及び施設用地の管理のほか、港湾整備事業に伴い借り入れた県債の償還金、利子等の経費の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額4億2,746万9千円を計上しました。

歳入としては、港湾施設使用料1億657万円、県債の元利償還負担金収入878万8千円等を計上しました。

一方、歳出については、埠頭用地造成事業費3億1,000万円、管理費5,813万円及び県債の元利償

還金5,933万9千円を計上しました。

(10) 流域下水道事業特別会計

この会計は、流域下水道各処理区の管理のほか、流域下水道事業の建設費、県債の元利償還金等の経費の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額227億1,680万8千円を計上しました。

歳入については、流域下水道事業費地元負担金83億7,961万円、国庫負担金84億800万円、一般会計繰入金30億321万9千円等を計上しました。

一方、歳出については、流域下水道建設費144億1,567万7千円、流域下水道管理費48億5,165万5千円、県債の元利償還金34億4,947万6千円を計上しました。

(11) 公共用地先行取得事業特別会計

この会計は、公共事業を行うため必要とする用地をあらかじめ取得する事業の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額1億7,276万7千円を計上しました。

歳入については、財産収入として土地売払収入1億5,000万円、利子収入1,963万円等を計上しました。

一方、歳出については、公共用地先行取得事業費1億5,000万円、土地開発基金積立金2,276万7千円を計上しました。